

# 地理的分野

## 1 分野の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

### 地理的な見方・考え方

- (1) 社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること。構想する際の「視点や方法（考え方）」。
- (2) 地理的な見方・考え方の具体
  - ① 位置や分布
  - ② 場所
  - ③ 人間と自然環境との相互依存関係（人と自然との関わり）
  - ④ 空間的相互依存作用（地域同士のつながり）
  - ⑤ 地域

## 2 改訂の要点

- (1) 世界と日本の地域構成に関わる内容構成の見直し
- (2) 地域調査に関わる内容構成の見直し
- (3) 世界の諸地域学習における地球的課題の視点の導入
- (4) 日本の諸地域学習における考察の仕方の柔軟化
- (5) 日本の様々な地域の学習における防災学習の重視

## 3 内容及び内容の取扱い

### A 世界と日本の地域構成

#### (1) 地域構成

「世界の地域構成」、「日本の地域構成」を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 「日本の地域構成」を扱う際には、都道府県の名称と位置のほかに都道府県庁所在地名も取り上げること。
- ・ 「領域の範囲や変化とその特色」については、我が国の海洋国家としての特色を取り

上げるとともに、竹島や北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題も取り上げるようにすること。その際、尖閣諸島については我が国の固有の領土であり、領土問題は存在しないことも扱うこと。

- ・ 地球儀や地図を積極的に活用し、学習全体を通して、大まかに世界地図や日本地図を描けるようにすること。

## B 世界の様々な地域

### (1) 世界各地の人々の生活と環境

場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 世界各地の人々の生活の特色やその変容の理由と、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件との関係を考察するに当たって、衣食住の特色や、生活と宗教との関わりなどを取り上げるようにすること。

### (2) 世界の諸地域

世界の六つの州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 州ごとに設ける主題については、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる事象を取り上げるとともに、そこで特徴的に見られる地球的課題と関連付けて取り上げること。
- ・ 取り上げる地球的課題については、地域間の共通性に気付き、我が国の国土の認識を深め、持続可能な社会づくりを考える上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようにすること。

## C 日本の様々な地域

### (1) 地域調査の手法

場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 地域調査に当たっては、対象地域は学校周辺とし、主題は学校所在地の事情を踏まえて、防災、人口の偏在、産業の変容、交通の発達などの事象から適切に設定し、観察や調査を指導計画に位置付けて実施すること。
- ・ 様々な資料を的確に読み取ったり、地図を有効に活用して事象を説明したりするなどの作業的な学習活動を取り入れること。また、課題の追究に当たり、縮尺の大きな地図や統計その他の資料を含む地理空間情報を適切に取り扱い、その活用の技能を高めるようにすること。

### (2) 日本の地域的特色と地域区分

「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 日本の地域的特色については、系統的に理解を深めるための基本的な事柄で構成すること。
- ・ 地域区分に際しては、日本の地域的特色を見いだしやすくなるようにそれぞれ適切な数で区分すること。

### (3) 日本の諸地域

「自然環境」「人口や都市・村落」「産業」「交通や通信」「その他の事象」を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 国内を幾つかの地域に区分して取り上げることとし、その地域区分は、指導の観点や学校所在地の事情などを考慮して適切に決めること。
- ・ 学習する地域ごとに考察の仕方を一つ選択することとし、「自然環境」「人口や都市・

村落」「産業」「交通や通信」を中核とした考察の仕方は、少なくとも一度は取り扱うこと。また、「その他の事象」を中核とした考察の仕方は、様々な事象や事柄の中から、取り上げる地域に応じた適切なものを適宜設定すること。

- ・ 地域の考察に当たっては、そこに暮らす人々の生活・文化、地域の伝統や歴史的な背景、地域の持続可能な社会づくりを踏まえた視点に留意すること。

#### (4) 地域の在り方

空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 取り上げる地域や課題については、各学校において具体的に地域の在り方を考察できるような、適切な規模の地域や適切な課題を取り上げること。
- ・ 学習の効果を高めることができる場合には、「地域調査の手法」の学習や「日本の諸地域」の中の学校所在地を含む地域の学習と結び付けて扱うことができること。
- ・ 考察、構想、表現する際には、学習対象の地域と類似の課題が見られる他の地域と比較したり、関連付けたりするなど、具体的に学習を進めること。
- ・ 観察や調査の結果をまとめる際には、地図や諸資料を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりするなどの学習活動を充実させること。

## 4 評価の観点の趣旨

観点	観点の趣旨
知識・技能	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。